

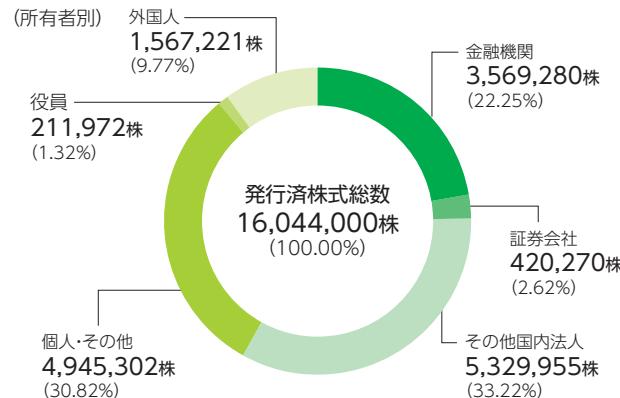
# 会社データ

## ●会社の概要 (2024年3月31日現在)

商号 サンワテクノ株式会社  
SUN-WA TECHNOS CORPORATION  
本社所在地 〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1  
東京スクエアガーデン18F  
設立年月日 1949年11月4日  
資本金 37億2,700万円  
発行済株式の総数 16,044,000株  
従業員数 610名(連結1,071名)  
ホームページ <https://www.sunwa.co.jp/>  
事業内容 ・産業用エレクトロニクス・メカトロニクス関連の装置・機器・部品の販売  
・各種電子部品・電子機器・各種 OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売  
・半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、FA産業関連設備装置、基板関連装置、物流搬送装置、車載製品、各種検査装置等の販売  
・生産現場の効率化のためのトータルエンジニアリングサポート

## ●株式の状況 (2024年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 33,380,000株
- 発行済株式の総数 16,044,000株
- 株主数 4,058名
- 株式の分布状況



## サンワテクノ株式会社

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F  
TEL.03-5202-4011 FAX.03-5202-4054



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
上記基準日 毎年3月31日  
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)  
公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載 URL ([https://www.sunwa.co.jp/ir\\_info/index.html](https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html))

## 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●役員 (2024年6月25日時点)

### 取締役

代表取締役会長 田中裕之  
代表取締役社長 松尾晶広  
社長執行役員 上坂秀昭  
取締役常務執行役員 平野隆士  
取締役執行役員 越後洋一  
社外取締役 草薙一郎  
社外取締役 坂本敦子  
取締役(常勤監査等委員) 花山一八  
社外取締役(監査等委員) 山口章  
社外取締役(監査等委員) 康理恵

### 執行役員

上席執行役員 宮崎一彦  
執行役員 玉木克也  
執行役員 西田勝幸  
執行役員 的場孝成  
執行役員 遊佐浩司  
執行役員 吉井一浩  
執行役員 安室利行  
執行役員 喜多村修寛  
執行役員 犬飼勉  
執行役員 西野巨

# 第76期 株主通信

2023年4月1日~2024年3月31日



証券コード8137

## 営業組織体制を改編し、顧客セグメント戦略とのシナジーで期待される企業を目指します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年5月10日に、2023年度通期決算を公表いたしました。

第11次中期経営計画「SNS2024」(2022～2024年度)の2年目の営業利益目標60億円に対し、62億円を達成し、連結業績は、売上高・各段階利益(営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益)において、全て前年度に次ぐ過去2番目の業績となりました。

2024年度の業績予想につきましては、人手不足の課題に対処するため自動化技術への投資が続くと見込まれるものの、需給逼迫が解消したことで顧客の在庫過多による手配調整が継続されていること、また、中国経済の景気回復の遅れや地政学的リスクの不透明感から、営業利益の見通しを30億80百万円といたしました。

2023年度と比較しますと大幅な減益見通しとなりますが、第11次中期経営計画の基本方針である「イノベーションが求められる成長分野への注力」を一層図るべく、営業組織体制を改編し、顧客セグメント戦略とのシナジーを強化し、収益力の更なる向上を図ってまいります。

また、株主還元につきましては、2023年1月30日に発表いたしましたとおり、業績連動利益配分の指標として連結配当性向25～35%を目標としており、減益予想ではあ



代表取締役社長  
松尾 晶広

りますが、安定した配当を行うことを重視し、2024年度の配当につきましては年間配当予想を1株当たり+5円の100円に増配し、設立75周年の記念配当10円を加えて、1株当たり110円としております。さらに、このたび株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの皆様に当社事業に対するご理解を深めていただけますよう、株主優待制度(QUOカード)を導入することを発表いたしました。

さて、当社は2024年11月4日に設立75周年を迎えます。株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様のご支援の賜物と心から御礼申し上げます。

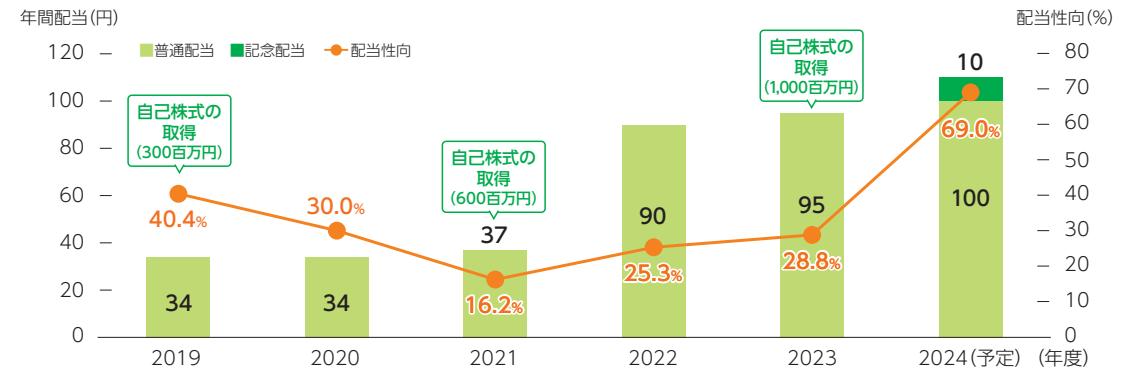
サンワテクノスグループの長期経営ビジョン「世界中の技術をつなぎ 新たな価値を創造し 豊かな社会づくりを支える」を実現し、全社一丸となって取り組み、お客様、仕入れ先の皆様と力を合わせて企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 株主還元について

### ● 株主還元

- ・持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- ・業績連動利益配分の指標として連結配当性向25～35%を目標とする
- ・株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施



### ● 株主優待制度を導入(QUOカード)

- 【開始時期】** 2025年3月末日
- 【対象】** 毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、100株(1単位)以上保有されている株主様
- 【進呈時期】** 3月末を基準日として、定時株主総会後に発送する株主通信に同封し、年1回進呈
- 【優待内容】**

保有株式数	株式保有期間 2年未満	株式保有期間2年以上 (長期保有優待)※
100株～500株未満	1,000円	左記に+1,000円
500株以上	2,000円	

※長期保有優待について  
株式保有期間2年以上の株主様とは、毎年3月末日、9月末日を基準日とし、株主名簿に同一株主番号で5回以上連続して記載または記録されていること。  
また、保有期間の判定については、2025年3月末日(基準日)から過去に遡って行う。

### ● 記念配当

- ・設立75周年(2024年11月4日)記念配当(10円)を実施予定(2025年3月末日(基準日))



# 決算ハイライト

## 売上高

1,661億38百万円  
前年同期比8.2%減

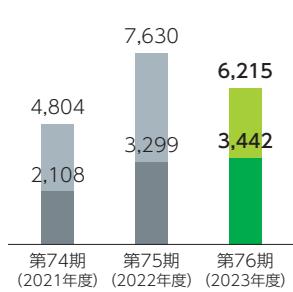
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)  
■ 期末



## 営業利益

62億15百万円  
前年同期比18.5%減

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)  
■ 期末



## 経常利益

66億31百万円  
前年同期比13.6%減

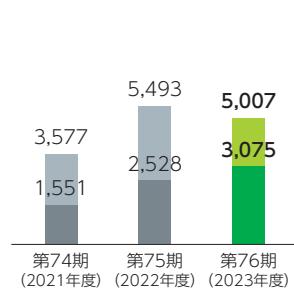
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)  
■ 期末



## 親会社株主に帰属する当期純利益

50億7百万円  
前年同期比8.9%減

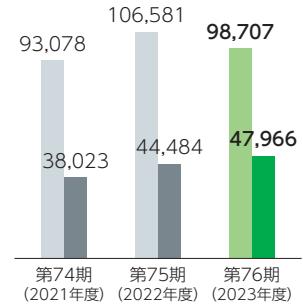
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)  
■ 期末



## 総資産／純資産

総資産 987億7百万円  
前年同期比7.4%減  
純資産 479億66百万円  
前年同期比7.8%増

■ 総資産 (単位:百万円)  
■ 純資産



## 1株当たり純資産／自己資本比率

1株当たり純資産 3,174円19銭  
前年同期比10.5%増  
自己資本比率 48.6%  
前年同期比6.9ポイント増

■ 1株当たり純資産 (単位:円)  
● 自己資本比率 (単位:%)



## 通期の見通し

顧客の在庫過多による手配調整が継続されていること、また、中国経済の景気回復の遅れや地政学的リスクの不透明感から、第11次中期経営計画「SNS2024」の最終年度である2025年3月期の営業利益予想は30億80百万円と、営業利益目標である70億円を39億20百万円下回る見込みです。

## 第77期 通期業績予想

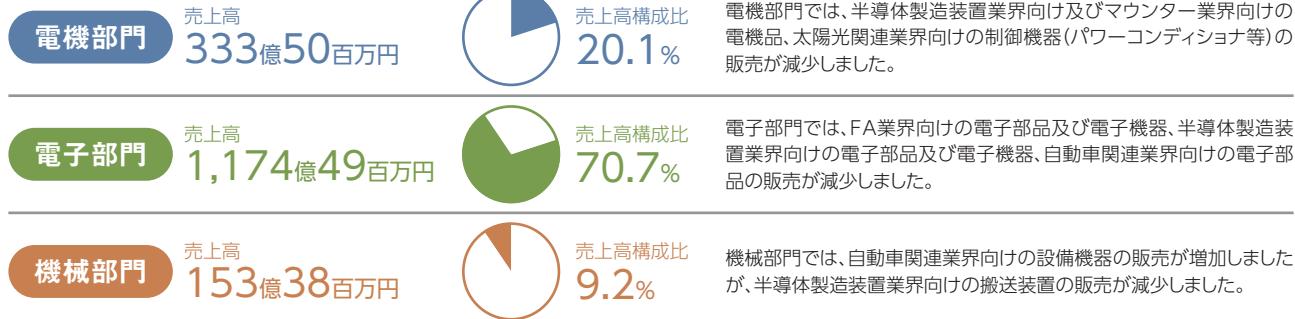


(注) 業績予想につきましては、2024年5月10日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

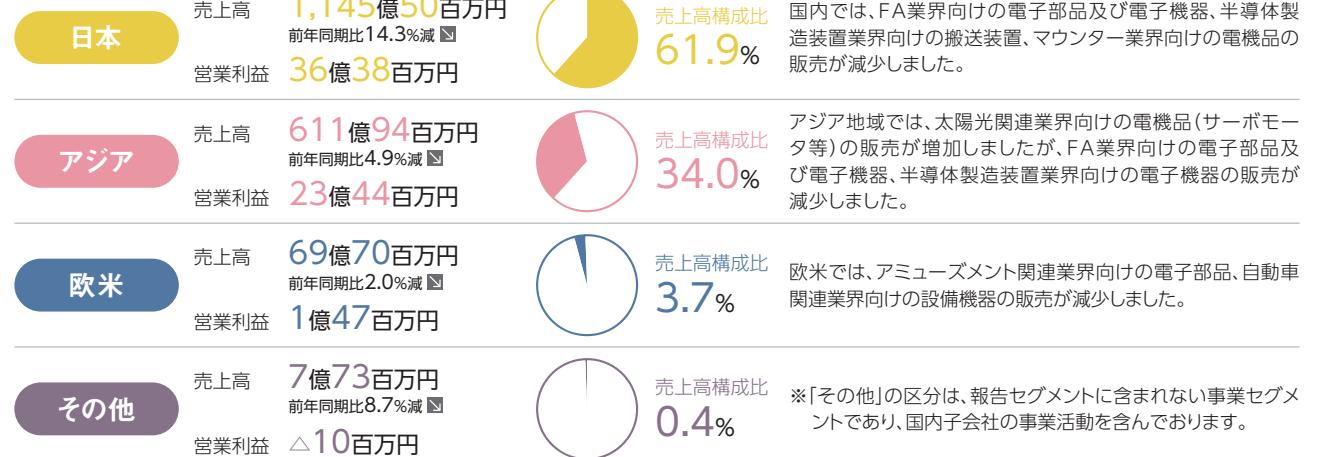
## 決算ポイント

- 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に次ぐ過去2番目の業績
- 客先の需要回復が遅れ、在庫調整が続ぎ、受注高・受注残は前年より減少

## 部門別の概況



## 地域別の概況



(注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。  
(注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

# 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗

第11次  
中期経営計画  
(2022年度～2024年度)



企業価値の向上  
2024年度 営業利益70億円達成  
PBR(株価純資産倍率)1.0倍超の早期実現を目指す  
最重要経営指標を『売上高』から『営業利益』とする

◆ 連結	目標営業利益	営業利益	営業利益率	売上高
2021年度実績	48億円	48億円	3.1%	1,544億円
1年目 2022年度実績	50億円	76億円	4.2%	1,810億円
2年目 2023年度実績	60億円	62億円	3.7%	1,661億円
2024年度予想	70億円	30億円	2.0%	1,550億円

- 第11次中期経営計画の目標に対して2022年度、2023年度は目標を達成、2024年度は目標未達の見込み
- 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けての対応」を継続 [P6](#)をご覧ください。

## 2024年度会社方針

グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして  
“つながり”と“信頼”でものづくりの未来を支える

**challenge 01** **イノベーションが求められる成長分野への注力**  
● 顧客セグメント戦略と拠点営業戦略の融合による収益性の向上  
● 強みを活かした新規ビジネス創出と成長分野への投資  
● PBR1.0倍超を目指したPR・IR・SR活動の強化

**challenge 02** **より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供**  
● 顧客課題の解決を目指した独自の技術サポートとソリューション開発  
● SDX(サンワDX)<sup>\*1</sup>の策定と推進  
● グローバルサプライチェーン強靱化のためのソリューション提供

**challenge 03** **サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献**  
● SDA<sup>\*2</sup>推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減への貢献度の可視化  
● 多様な人材育成と活躍推進のための人的資本投資の実施  
● 社員エンゲージメント施策の立案、実施、効果測定

※1 Sunwa Digital Transformation ※2 SDA: Sunwa Decarbonized society Approach

## 顧客セグメント別 2023年度利益成長率 実績

顧客セグメント	'21→'24 目標成長率 (3年平均)	'21年度→'23年度 利益成長率 (実績)
半導体製造装置	15%以上	7.5%
ロボットマウンター	10%以上	▲14.3%
工作機械	10%以上	6.6%
FA装置	10%以上	11.7%
車載	10%以上	27.6%
設備	10%以上	▲0.5%

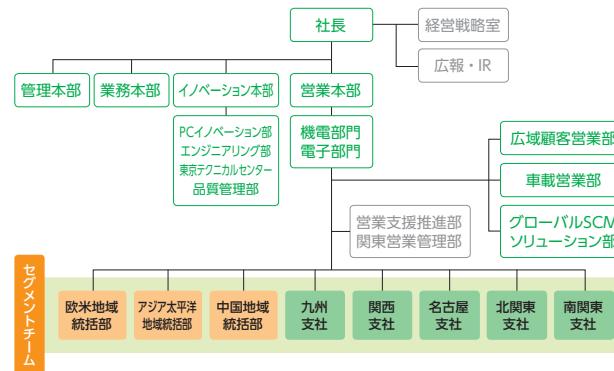
## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けての対応について

最重要経営指標である連結営業利益の最大化を通じて、高水準のROEの維持を目指します。

### 1 中期経営計画(SNS2024)の着実な実行による収益性の向上

#### 営業戦略

収益力の更なる向上を図るため、営業組織体制を、国内5支社、海外3地域統括に改編し、顧客密着型営業戦略、顧客セグメント戦略を強化します。



#### 海外戦略

中国リスクの影響を最小限に抑えるよう対処し、アジア、インド等へ生産移管を進める顧客への支援体制を整え、現地代理店としての営業基盤を確立します。

- 中国リスクへの対応** ……
- 1 駐在員と帯同家族の安全
  - 2 資金の確保
  - 3 サプライチェーンの確保
  - 4 事業の継続

**マーケットの変化への対応** ……

アジア、インド等へ生産移管を進める顧客への支援体制を整える(2024年5月17日、インドに2拠点目となるブルグラム事務所を開設)

### 2 株主還元の充実 [P2](#)をご覧ください。

### 3 IR・SR活動の拡充

ステークホルダーの皆様の認知・理解・共感を獲得し、「企業価値の向上」を実現しPBR1.0倍超を目指します。

2024年度の  
主な  
活動内容

- 機関投資家向け決算説明会
- 個人投資家向け会社説明会
- 各種展示会へ出展
- 技術者を対象とする自社主催の「サンワテクニカルセミナー'21」の開催

#### 技術戦略

イノベーション本部が独自技術を有する企業とアライアンス等の実施を通じて、高付加価値の新商品の開発と拡販を進めます。

- ロボットソリューションパッケージ 3D Connect シリーズ第1弾『AR<sup>2</sup> System』2023年11月発売

#### AR<sup>2</sup> System (ティーチングデータ位置補正ツール) とは

ロボットに搭載したカメラがARマーカータを読み取り、自動座標定位を行うことで、高精度にロボットの相対的位置補正ができます。精度はARマーカータを中心とする500mm以内領域でXYZ座標誤差は±0.5mm以内です。Windows上で動作する専用GUIで簡単に設定できます。



3D Connectシリーズ 第2弾・第3弾 発売  
<2024年7月発表予定>

#### DX戦略

「SDX(サンワDX)」の策定と推進により業務の効率化を図り、収益性の拡大に向けた体制を構築します。 **D X** 「デジタル技術を使った業務改善」

#### 人材育成・採用

- 全社員を対象としたITリテラシー 向上のための研修実施
- リスキリングによるDX人材の育成
- 適正人材の採用

#### 企業サイトリニューアル

- 「世界中の技術をつなぐ」をコンセプトにリニューアル(2024年11月実施予定)

# サンワテクノス75周年の歩み

当社は2024年11月4日に設立75周年を迎えます。

当社の歴史は、サンワテクノスの前身となる「山田工業株式会社」が設立された1949年に遡ります。創設時は社員わずか4人でのスタートでしたが、現在は従業員数1,000人(連結)を超える、国内30拠点、海外34拠点で事業を展開する企業へと成長してまいりました。

電機・電子・機械の3分野にまたがって事業を展開する独立系技術商社として、産業の振興、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

設立100年に向けて、より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供で顧客のニーズに応えることで、企業価値の向上を目指してまいります。

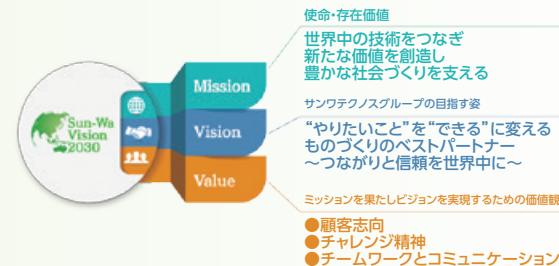
## サンワテクノス社名の由来



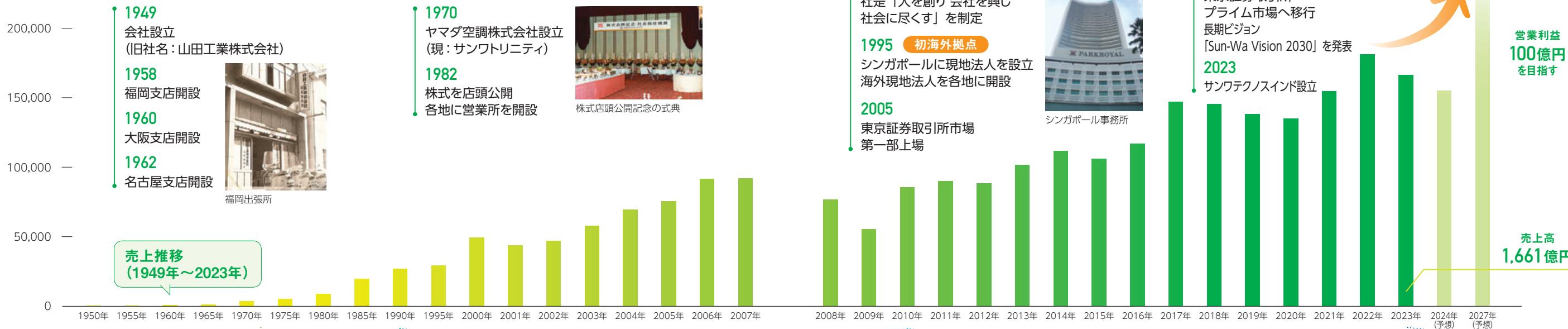
SUN (太陽) に通じ、社運の隆盛をイメージし、三つのWA (わ) という意味を含んでおります。当社は創業以来「お取引先様・株主様・社員」の三者の和 (バランス) を追求し、三つのわ (和・話・輪) を大切に、発展したいという考えをもってあります。さらに、電機・電子・機械の三つの事業をバランスよく成長、発展させたいという、想いも込められています。

## Sun-Wa Vision 2030

サンワビジョン2030



2024年11月  
設立75周年



**1949**  
会社設立  
(旧社名：山田工業株式会社)

**1958**  
福岡支店開設

**1960**  
大阪支店開設

**1962**  
名古屋支店開設



福岡出張所

**1970**  
ヤマダ空調株式会社設立  
(現：サンワトリニティ)

**1982**  
株式を店頭公開  
各地に営業所を開設



株式店頭公開記念の式典

**1993** **社名変更**  
社名をサンワテクノスへ変更  
社は「人を創り 会社を興し  
社会に尽くす」を制定

**1995** **初海外拠点**  
シンガポールに現地法人を設立  
海外現地法人を各地に開設



シンガポール事務所

**2005**  
東京証券取引所市場  
第一部上場

**2019** **初「スマート営業所」**

四国営業所開設

**2022**  
東京証券取引所  
プライム市場へ移行  
長期ビジョン  
「Sun-Wa Vision 2030」を発表

**2023**  
サンワテクノスインド設立

### 1949-'60s 復興～高度成長期

- 1949年旧・山田工業株式会社設立
- 安川電機と代理店契約
- BtoBビジネスモデル、双方向取引の原点が生まれた

### '70-'80s バブル経済へ

- 国内産業の発展に伴い全国規模で拠点を拡充
- 地域・顧客密着営業活動を展開
- 現在の電機・電子・機械の事業領域が確立

### '90-'00s

### グローバル経済

- 1995年のシンガポール出店を皮切りに  
アジア・ヨーロッパ・北米に海外拠点を拡充、  
本格的なグローバル化

### '10s～現在

### ICTとデジタル経済

- 社内のDX化を進め、国内外での連携を強化
- スマート営業所を拡充
- グローバルサプライチェーンを駆使し、お客さまの生産拠点の高度化、競争力向上を実現

# サンワグローバルネットワーク

● 国内5支社(30拠点)、海外3地域統括(34拠点)

## 日本(国内)

30 拠点

<国内関連会社>  
サンワトリニティ株式会社  
サンワロジスティック株式会社

## 欧米

6 拠点

- ・ フランクフルト
- ・ リュブリャナ
- ・ シカゴ
- ・ サウスカロライナ
- ・ ロサンゼルス
- ・ ケレタロ

## アジア

28 拠点

- ・ 上海・上海メカトロセンター
- ・ 瀋陽
- ・ 大連
- ・ 青島
- ・ 天津
- ・ 蘇州
- ・ 常州
- ・ 成都
- ・ 武漢
- ・ 杭州
- ・ 広州
- ・ 厦門
- ・ 深圳
- ・ 香港
- ・ 香港物流センター
- ・ 台北
- ・ 台中
- ・ 台南
- ・ ハノイ
- ・ ホーチミン
- ・ マニラ
- ・ バンコク
- ・ ベンガルール
- ・ グルگرام
- ・ クアラルンプール
- ・ ペナン
- ・ シンガポール
- ・ ジャカルタ

各拠点の住所と連絡先は  
当社ホームページ「拠点」をご覧ください。



<https://www.sunwa.co.jp/about/company/index.html>

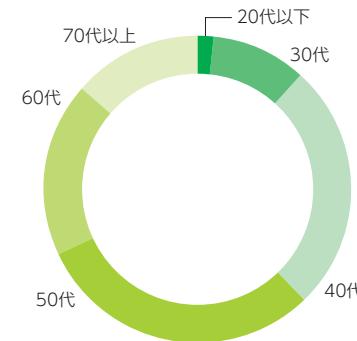
サンワテクノス 拠点 検索

# 2023年度株主アンケート結果のご報告

第76期中間株主通信でご案内させていただきました株主アンケートにつきまして、ご回答いただきありがとうございます。いただきました貴重なご意見・ご要望につきましては今後のIR活動の参考とさせていただきます。

以下、アンケート結果の一部をご報告させていただきます。

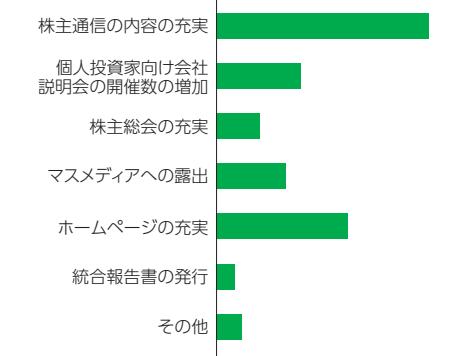
Q. 年齢を教えてください。



Q. 当社に投資する決め手となったポイントは何ですか？



Q. 今後、当社のIR活動について期待されることをお聞かせください。



## ● 皆様の声をふまえた当社の取り組み



中国への依存が高いように思えますので、インドや次の重点地域を模索してほしいです。



個人投資家です。安定配当が魅力で長期で保有しています。株主優待制度を設けていただけたら嬉しいです。

**A** 当社は昨今の中国の状況を見据えて、時勢に臨機応変に対応できるよう対策をとっております。また、インド北部地域の更なる事業拡大を目的とし、2024年5月17日にインドで2つ目の営業拠点となるサンワテクノスインド グルグラム事務所を開業いたしました。当社グループとしてアジア・インド地域での更なる事業拡大を図ってまいります。

**A** 長期保有いただきありがとうございます。株主優待制度を今期から導入することといたしました。これからも株主の皆様の期待に沿えるよう、活動してまいります。▶P2をご覧ください。

今後も株主の皆様とのより良いコミュニケーションの実現を目指し、定期的にアンケートを実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。